

松川町第4次総合計画後期基本計画進行管理表

※達成率＝H27目標値に対するH25の実績値です。

※【委員からの助言】は総合計画推進会議委員より寄せられた助言をまとめたものです。

第1章 新たな協働の地域づくりに取り組む まち

施策小項目	指標(単位)	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	H25実績	H27目標	達成率	総合評価と今後の方向性
地域コミュニティの支援	まちづくり懇談会の参加者数(人)	1,256	1,253	1,408	1,414	1,184	1,400	85%	<p>■まちづくり懇談会 自治会まちづくり懇談会は、73自治会中56自治会(実施率77%)で開催されました。良い意味で開催が定着化してきているといえます。また、町長も44の自治会懇談会へ参加しました。一方で、「開催すること」や「町からの説明会」が目的化してしまっているところも見受けられ、行政側の一方的な資料説明にならないよう、意見交換の場として、コミュニケーションが図れる機会としたいと考えます。</p> <p>■自治会への加入促進 転入される方へ、窓口手続き時に自治会加入案内チラシを配布し、加入を呼びかけています。しかし、強制力がないなかで、方法について継続的に研究していくことが必要です。また、行政に頼りきりにならない組織作り→住民自治力の向上を図ることが今後必要で、そのための支援のあり方を研究することも必要となっています。</p> <p>【委員からの助言】 ・地域でも自治会をぬける家庭が増えていく。そのほとんどが老人、男一人暮らしで休会になり、事実上の地域からの脱退。ゴミ、河川清掃、除雪など問題が出ている。負担金に差をつけるなど自治会長も苦慮している。色々なことに地域差があり、体験したことのないようなことで1年の会長では難しい。町の適切なアドバイスが欲しい。 ・自治会未加入者のことが問題になっている。情報は、区・町・自治会でそれぞれ把握している。これらが何とかうまく共有できればと感じている。 ・地域づくりは社会教育の一環として、自分たちのことは自分たちでやるというような仕組み作りが大切。 ・まちづくり懇談会の参加人数が平成24年度と比較して300人ほど減っている。このまま毎年行っても同じなので、工夫をして出てもらうようにすべきである。 ・まちづくり懇談会は、町が積極的に自治会や区会に出向いて、説明や意見の聞き取りをしていただくと有り難い。住民が要望を掲げるだけでなく、自ら行動していけると良いと思っておりましたが、このところ動きが出てきているようで、良いと思います。</p>
	自治会組織率(%)	81.5	81.0	80.6	80.2	80.0	83.0	96%	

施策小項目	指標(単位)	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	H25実績	H27目標	達成率	総合評価と今後の方向性
自主的なまちづくり活動の支援	まつかわ町民提案型まちづくり事業採択件数(件)	16	21	26	11	11	56	20%	<p>■町民提案型まちづくり事業</p> <p>平成25年2月、7月、11月の3回の募集で11事業、1,919,000円を採択しました。実績に対する評価・検討と、活動実績の周知と活用を促す目的で新たに実績報告会を3月18日に開催しました。</p> <p>この事業は、3回まで同様の事業内容で申請を受けられますが、補助金頼みになってしまい、3年経過後の事業実施に困らないよう、当初の段階から発展的・自主的な活動になるよう指導していく必要があります。また、応募も低迷気味のため、PRに努めてまいります。</p> <p>【委員からの助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実績報告会によって、プレゼンの能力もあがり、実績がなければ発表もできないので事業も良くなっていく。大いに宣伝して行うべきだ。実績報告会の開催とその様子について事前の告知をお願いする。 ・花づくりなど、自主的な活動が進められていて、大変良いと思う。町民がもう少し関心を持つようにしていきたい。
情報公開の推進と広報広聴の充実	町ホームページのアクセス件数(PV)	78,802	80,000	88,000	184,150	402,044	84,000	479%	<p>■広報広聴の充実</p> <p>新しいホームページに移行してから1年が経過し、リアルタイムな情報の掲載に努めたことで、アクセス数が大幅に伸びています。取り扱いに対して、職員のスキルアップを図るため、定期的に講習会が必要です。また、情報掲載が各課係の担当者により差があることから、フォローや指導も必要です。</p> <p>■チャンネルYOUとの連携</p> <p>チャンネルYOU取締役会に参加し、情報共有を図っています。また、地デジ12chへの移行が完了しました。地デジ化により放送の幅が広がるなかで、有効活用と費用的な面での検討・研究が必要となっています。</p>
	(株)チャンネルYOU加入者世帯数(世帯)	3,334	3,246	3,174	3,155	3,060	-	-	
住民参画の推進	まちづくり出前講座開催回数(回)	182	170	123	100	90	190	47%	<p>■出前講座</p> <p>まちづくり懇談会を実施し、併せて防災や健康など自治会ごとで選択していただいた各種出前講座を実施しました。必要と思われるメニューや、担当する職員のプレゼン能力の育成が必要です。また、出前講座を利用してもらえるよう、自治会への周知を随時行う必要があります。</p> <p>■審議会等への町民参加</p> <p>公開を徹底するため、9月末現在で中間集計を行いました。今後運用状況を取りまとめ公表してまいります。附属機関の委員公募枠はクロス表により確認しています。平成25年度の実績は15名で、若干改善しています。委員候補者の選出方法について、幅広い住民の参画が得られる方法を模索する必要があります。</p>
	審議会等の公募委員募集定数(人)	10	10	21	11	15	30	50%	

施策小項目	指標(単位)	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	H25実績	H27目標	達成率	総合評価と今後の方向性
効率的な行政運営	人口1人当り 人件費物件費 等決算額(円)	105,171	105,938	109,579	114,993	119,038	105,322	88%	<p>■行政評価制度の充実 後期基本計画の進行管理を兼ねた、「総合計画推進会議」を5月に開催しました。また、推進会議委員からの助言を盛り込み、進行管理表を作成、ホームページで公表しました。</p> <p>第5次総合計画策定にあたり、現行の行政評価を新たな計画に確実に引き継げるよう、コンサルと十分な調整を図る必要があります。</p> <p>【委員からの助言】 ・県や国に関することは、どうしても電算の専門業者に委託するようにならないかもしれないけれど、町内のことは町独自のソフトで対応したほうが効率的でトラブルも小規模で済むのではないかと。</p>
総人件費改革の推進	職員数(定員管理調査)(人)	104	105	104	100	104	102	98%	<p>■定員管理 25年度の職員数は104人でした。地方分権の推進が図られるなか、人件費、業務量のバランスを考慮しながら、定員管理計画の見直しを、総合計画策定時また自治体経営改革プラン策定時に合わせ検討を行う必要があります。</p>
	臨時・非常勤職員数(人)	70	76	72	76	78	-	-	<p>■臨時非常勤職員の活用 臨時非常勤職員に対する制度説明会を10月に実施し、継続希望者の把握を行いました。1月には新規採用試験を実施しています。引き続き6ヶ月ごとの辞令交付による任命を行い、規定に基づく運用管理を行ってまいります。</p>
健全な財政運営	実質公債費比率(%)	18.4	18.2	16.4	14.0	11.0	17.0	155%	<p>■中長期財政計画 今後3年間の主な普通建設事業について、「まちづくり実施計画(H26～28)」を作成、これにより、補助金・起債・基金など、今後の財政見通しを明らかにしました。新地方公会計に係る平成24年度財務4表を作成し、議会へ報告するとともに、ホームページで公表しました。また、公会計新統一基準モデルへの移行準備として、土地、建物、物品の有形固定資産について管理データを作成しました。</p>
	経常収支比率(%)	84.0	84.6	81.8	81.4	78.2	85.0	109%	<p>今後、「まちづくり実施計画」を踏まえた5年間の将来財政試算を行い、第5次総合計画策定にあわせ、計画にリンクさせていきます。また、新統一基準モデルで求められている有形固定資産のうち、未整備の工作物について早期に把握する必要があります。</p>
	町税収納率(%)	98.8	98.5	98.5	98.5	98.6	98.5	100%	<p>■町税等の徴収体制の強化 水道料や保育料などの各料金、補助金を担当する課係と連携、情報交換を行いながら収税に努めた結果、収納率が向上しました。また、要望の多いコンビニ収納について庁内会議を実施し、導入体制の整備を行っています。</p> <p>収税について、庁内連携は継続して必要になりますが、今後は「現年課税の徴収率の向上」と「未納者の減少」を重点課題とし、課題達成のためには、毎月の滞納整理の充実と分納誓約の適正な履行等、効率的な未納者管理の徹底を行う必要があります。また、コンビニ収納開始へ向けた検討を、県内システム共同化等を考慮しながら行います。</p>

施策小項目	指標(単位)	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	H25実績	H27目標	達成率	総合評価と今後の方向性
健全な財政運営 (つづき)	広告掲載料 (円)	370,800	271,500	244,500	151,500	120,000	-		■ 広告掲載事業 町ホームページバナー、広報まつかわ、郵送用封筒など広告主の拡大に努め、5件120千円の収入となりました。また、要綱を改正して応募できる広告主の対象範囲を松川町内から長野県内としたところ、飯田下伊那地方の企業より応募がありました。広報まつかわへの希望は多くありますが、スペースが限られているため、ホームページバナーへの掲載を促す必要があります。
地域間交流の推進	南信州定住自立圏協定数 (協定)	15	15	16	17	18	17	106%	■ 南信州定住自立圏の連携 診療情報連携システムにかかる協定を締結しました。今後、新たな可能性、取り組みについては継続して研究していく必要があります。
	その他 【委員からの助言】 地域住民と都会へ行った方々との間に、違和感が生まれる場合がある。お互いに相手を尊重し、理解しようとする気持ちが必要である。 お互いが良い思いをする一つの例として「ふるさと納税」を進めてきているが、田舎からの一方的サービスにならないように、田舎と都会との情報交換を中心にして、田舎から贈る産物に心は込めても経済的負担が増大しないように長続きさせたい。								
	総合計画について 【委員からの助言】 ・大目的「人の和のある地域協働のまち まつかわ」をめざし、10年計画で取り組んできており、総合計画にあるように多岐にわたり目標値を上げて取り組み、確実に進歩してきていると目標値の達成状況、実体感共に感じています。キャッチフレーズとしては「人の輝く 緑と水のまち まつかわ」となっておりますが、どうも一般にアピールするには大きすぎる。 例えば、「待機児童0の町(市)流山市、芸術の町池袋」というような「売り文句」がほしい。 ・第5次総合計画策定に当たり、業者を頼むことは当然だと思うが、業者は比較的同じパターンで行く。言いなりにならないように、松川の計画はこういう形で作りたいというものが欲しい。								

第2章 あたたかな育みの輪をひろげる まち

施策小項目	指標指標(単位)	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	H25実績	H27目標	達成率	総合評価と今後の方向性
次代の親の育成(結婚・出産等の支援)	結婚相談所延相談件数(件)	529	531	583	632	618	-		<p>■男女の出会い、交流の場の創設</p> <p>愛ねっと北部登録者は326名(3月末現在男:165名、女:161名)となっています。32組の出会いをコーディネートしましたが成婚実績はありませんでした。その他イベントについては、参加人数の定員を満たすことができ、成婚実績は3組でした。</p> <p>一方、町の結婚相談委員の成婚実績は3組でした。また、独自のイベントを夏季と冬季の2回企画し、計36名の参加がありました。カップルは3組成立したものの、成婚には至りませんでした。より親密度を深める取り組みが必要です。</p> <p>北部・町とも女性登録者を増やすことが課題となっています。また、愛ねっと北部への支援は引き続き継続しますが、町独自のイベントとの棲み分け・実行を提言します。また今後、町独自のイベントを夏季に一泊二日で計画したいと考えています。</p>
	婚姻率(1,000人当り婚姻件数)	4.0	3.9	3.9	3.9	3.8	4.7	81%	<p>■めばえ支援事業</p> <p>年間5件の助成を行い、このうち2件が出生につながりました。不育症については申請・相談ともに0件でした。</p> <p>乳幼児健診、子育て支援センターおひさま、赤ちゃんファイル、ホームページ、広報など引き続き制度の周知を図るとともに、県内医療機関及び関係機関へも周知を行う必要があります。</p>
	合計特殊出生率(人)	1.44	1.43	1.40	1.40	1.49	1.85	81%	<p>【委員からの助言】</p> <p>・結婚相談員は2年で4組が成婚につながり、良い成績を収めている。愛ねっと北部の負担金(H26予算:1,287,000円)も上がって生きた。町でイベントがしっかりできれば、愛ねっとは考えても良いのではないかと。但し、松川町がしっかりやっていくことが必要。</p> <p>・結婚相談員が成果を上げていてありがたいと思います。ただ、若者の結婚を進めるためには、1日8時間、月20日きちんと働けば2人の子どもを育て上げることができるだけの給料を確保してやる必要があります。</p>
母子保健の充実	妊娠11週以前の妊娠届率(%)	89.3	93.4	96.0	96.2	89.2	85.0	105%	<p>■妊婦健診</p> <p>妊娠届に基づき、母子健康手帳を93件交付しました。また、母子手帳交付時に妊婦健診受診票を交付して、妊婦健診の費用を補助しています。</p> <p>低体重での出生は高額医療の原因、生活習慣病のリスクとなりますが、このことは妊娠中の健康管理により予防可能な面もあります。予防のための係わりを検討していきます。</p>
	妊婦健診・両親学級における初産参加率(%)	38.1	38.0	32.7	25.3	19.4	80.0	24%	<p>■乳幼児健診・相談</p> <p>乳幼児健診は、4ヶ月、7ヶ月、10ヶ月、12ヶ月、1歳半、2歳、2歳半、3歳児に実施しました。また、4ヶ月、1歳半、3歳児には医師による診察を行っています。</p> <p>母の育児力形成のため、スタッフの力量形成を含めた乳幼児健診の見直しなど、減少傾向にある初産参加率を上げる方策の検討が必要です。</p>
	乳幼児健診受診率(%)	88.0	94.5	91.1	85.3	87.8	95.0	92%	<p>乳幼児相談は、7ヶ月、10ヶ月、1歳、2歳、2歳半児を対象に実施しています。欠席された方には訪問や電話により個別対応しています。</p> <p>受診率向上のために相談内容を見直す必要があります。</p>
	相談事業未受診者へのかかわり率(%)	100	100	100	100	100	100	100%	

施策小項目	指標指標(単位)	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	H25実績	H27目標	達成率	総合評価と今後の方向性
地域における子育て支援	子育て支援センター延利用者数(人)	7,593	8,318	9,958	8,759	8,198	8,600	95%	<p>■子育て支援センター事業 開所日数は286日でした。乳幼児健診やブックスタート、各クラブでのこまめな声掛けにより新規利用者が増加しました。また、利用者の口コミから、町外利用者の増加がみられます。 尚、年度前半は耐震工事を実施したため、利用者が減少となりました。また、サークルや企画事業の会場を別に設けたことで不便をかけることになりましたが、改修後は安心して利用できる環境となっています。 利用者の安全確保(防災・防犯)のため、今後避難訓練の実施するとともに、利用者のニーズを捉えながら、センターの特色を活かした運営を継続します。</p> <p>■子育てサークル等支援事業 赤ちゃんクラブ(21回)、ひよこクラブ(21回)、なかよしクラブ(22回)、わくわくクラブ(10回)、リズムであそぼ(10回)、企画事業(12回)、自主サークル(5回)をそれぞれ実施しました。 利用者の趣味や資格などを活かしながら、利用者が主体となって活動できる場を検討していきたいと考えています。</p> <p>■ながの子育て家庭優待パスポート事業 ・第1子出生家庭と転入家庭へパスポートカードを交付しました。また、パスポートカードの県下一斉の更新に伴い、新規カード・パンフレットの作成と、対象家庭への配布を行いました。第1子出生家庭と転入家庭へのパスポートカード交付の継続と、事業の周知拡大が課題となっています。 ・協賛店舗を拡大し、更新したポスター・ステッカーの作成と対象店舗への配布、協力の継続を依頼しました。</p> <p>■放課後児童クラブ、放課後子ども教室 名子児童館132名(4～6年生:36名)上片桐児童館79名(4～6年生:24名)計211名を受け入れました。中央小児童の22%、北小児童の45%が利用しています。また、利用児童の少ない土曜日は、2つの児童館の合同保育を実施しています。 利用者が増加傾向にある中、利用実態と利用者ニーズを把握し、開設内容の見直しや、施設整備について研究していく必要があります。</p>
	子育てサークル等支援回数(回)	201	189	190	183	213	220	97%	
	ながの子育て家庭優待パスポート協賛店舗数(店)	-	37	37	37	43	30	143%	
	放課後児童クラブ利用人数(人)	141	144	174	193	211	-		
	放課後子ども教室利用人数(人)	103	106	96	119	116	-		
保育サービスの充実	延長保育延受入人数(人)	140	127	128	98	105	-	<p>■特別保育 ・延長保育:受入れ園児数105名(大島保育園季節延長保育含む)。26年度大島保育園延長保育通年開始に向け職員の配置を行ないました。延長保育料の見直しを行い、保育サービスに努めます。 ・乳児保育:年度当初52名から途中入所増により、年間71名を受け入れました(うち出産に伴う短期里帰り3名)。3園で調節し、受け入れ態勢を整え保育に当たりましたが、厳しい状況もありました。また、26年度大島保育園未満児保育開始に向け、保育室の整備、職員配置を行ないました。統合保育園の未満児保育の充実を図り、受け入れ態勢を整えます。 ・一時保育:登録人数33名、延べ利用人数185人の保育を実施しました。一時保育の利便性を考慮し、上片桐保育園から名子中央保育園(統合保育園)に実施園を移行し、一時的な保育ニーズに対応します。</p>	
	乳児保育受入園児数(人)	49	61	70	70	71	-		
	一時保育延受入園児数(人)	136	256	130	199	185	-		

施策小項目	指標指標(単位)	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	H25実績	H27目標	達成率	総合評価と今後の方向性
保育サービスの充実(つづき)	休日保育延受入園児数(人)	12	12	8	9	68	24	283%	<p>・病後児保育:利用実績はありませんでした。健和会病院への定住自立圏協定病児保育委託事業は、利用児童延べ数18名でした。大島保育園で未満児保育を開始するため、実施園を上片桐保育園に移行し、継続して実施します。</p> <p>・休日保育:保護者の勤務体制から日曜出勤の家庭の園児を受け入れ、延べ園児数68名となりました。利便性を考慮し、上片桐保育園から名子中央保育園に移行します。</p> <p>■保育園食育活動 各園食育年間計画を作成し、野菜の栽培、収穫、クッキング等の食育活動を実施しました。各園とも食育活動が定着していますが、名子中央保育園は新たな食育年間計画を作成し、環境に合わせた食育活動を進めてまいります。</p> <p>■保育園整備事業 保育園名を「名子中央保育園」と決定、公表しました。用地の取得、造成工事を行い、本体工事は9月着手、3月24日工期としました。2月に工期延長の申し出があり、4月30日に工期を変更、これを受け、5月19日開園と決定しました。</p> <p>【委員からの助言】 ・保育園の時間外保育、小学校の児童館など子育て支援が充実していると思います。今後も育児困難な家庭への支援をお願いします。 ・園庭の芝生化について、熱中症対策としても良いが管理が問題。遊びや運動が制限されてしまうのではないのでしょうか。</p>
	保育園食育活動数(園)	5	6	6	6	6	5	120%	
		3	6	6	6	6	3	200%	
		2	1	4	5	6	3	200%	
保育園整備数(園)	6	6	6	6	6	5	83%		
知・徳・体(食)の調和がとれた学校教育の推進	エデュリンク講演会参加人数(人)	80	123	41	0	0	100	0%	<p>■保小中特別支援委員会 特別な配慮や支援の必要な児童生徒の現状把握と、その対応について情報交換し、対策を検討しました。また、途切れのない支援に向けて「個別の支援計画」「個別の指導計画」について小～中統一した様式を作成しました。 統一様式の活用方法や有効性について検証をしていきます。また、臨床心理士、スクールカウンセラーの指導による事例研究を充実させ、子どもたちのより良い自立に向けた取り組みを行います。</p> <p>■「こどもを守る安心の家」等の事業 子ども見守り隊・安全推進協議会の青パトなど各団体によるパトロール、PTAによる通学路点検、危険箇所の点検を実施しました。また、「こどもを守る安心の家」による地域見守り活動を継続しています。 警察、学校と連携し、「こどもを守る安心の家」への加入と地域の啓発活動の普及拡大を進めます。</p> <p>■学校の耐震化 校舎耐震化については、平成23年度までに実施済みです。北小、中学校体育館の天井等、非構造部材の耐震化等、校舎以外の施設の耐震化を進めてまいります。</p> <p>【委員からの助言】 ・学校は障がい者や不安定児童生徒に対応するシステムが充実していると思います。 ・中学校での職業体験学習による自ら生き方を決める進路指導、満蒙開拓平和記念館見学などの平和教育に力を入れていてくれてありがたい。</p>
	こどもを守る安心の家登録数(件)	104	106	109	109	109	115	95%	
	学校施設耐震化率(%)	45.5	85.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100%	

施策小項目	指標指標(単位)	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	H25実績	H27目標	達成率	総合評価と今後の方向性
うるおいと生きがいを育む社会教育の充実	本館部員活動回数(回)	106	122	134	139	154	-	-	<p>■公民館活動の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門部(体育部、社会部、編集部)の活動支援を行いました。 ・地区公民館活動に補助金や学習相談等の支援を行いました。 ・公民館研究集会では「若者と地域をつなげる」をテーマに3つの分科会を持ち、今後の方向性について話し合いを行いました。研究集会で出された課題を、今後の公民館活動に反映させていきます。 <p>■各種学級講座</p> <p>まつかわ大学は793名の参加がありました。第1講座に山田邦子さんを迎えたこともあり、昨年度より参加人数が増加しました。まつかわ大学は、町民の満足度が高く学習する意欲を大いに感じます。聴講する能力が高まり、満足させてくれる講師を望んでいることも感じています。講演会の内容を生活課題になるよう企画したいと考えます。</p> <p>■サークル活動等への支援</p> <p>社会教育関係団体一覧表をWebに展示し情報提供できました。一覧表が整備できたことから、窓口や電話での対応がスピーディーになりました。また、公民館報でサークル会員募集の記事を掲載しました。少子高齢化に伴い社会教育関係団体活動の行き詰まりを感じています。どのような活動を展開しているのか知っていただく必要性を感じています。</p> <p>■松川青年の家の運営</p> <p>受入れ研修並びに自主事業により、多くの方に利用していただきました。このなかで、町内小学校児童の通学合宿や蓮田市との小学生交流会など交流学習、森のこども園へ未就園児への参加からマレットゴルフ大会への年配者まで、また、清流苑、みらい、県林務課、国交省天竜川上流河川事務所とも連携を取りながら事業を展開し、幅広い活動ができました。一方、建物の老朽化による事故等の発生に注意が必要です。事業では、県が制定した「山の日」に合わせ、「山に遊び、山を学び、山で生活」に関わる活動を多く取り入れ、通学合宿や学校行事等での利用を促進します。また、環境の整備・職員の対応・利用の公平化に心がけていきます。</p>
	まつかわ大学参加者延べ数(人)	721	650	766	645	793	-	-	
	社会教育施設利用団体数(団体)	1,523	1,465	1,413	1,467	調査中	1,500	98% (24年度達成率)	
	松川青年の家利用者数(人)	19,290	19,547	20,091	20,819	21,349	19,500	109%	
魅力ある図書館運営	図書館図書貸出数(冊)	97,555	99,028	99,211	100,628	95,829	100,000	96%	<p>■図書館機能の充実</p> <p>貸出冊数が減少しています。近隣図書館でも同じような現象が起きており、原因の究明が課題です。子どもの利用率の向上として、各学校へ出向き学級文庫、調べ学習の資料提供を呼びかけます。</p> <p>■よみまいカーの運行</p> <p>移動図書館は、豪雪により休館となったため減少しています。リクエストにより駐車場所を1ヶ所増やしました。各地区の利用人数を精査し、27年度以降の巡回回数、経路を考察していきます。</p> <p>■図書館事業講座</p> <p>多くの幼児・児童が参加、関連する本も利用してもらえました。土曜日に開催のお楽しみ会について、他の行事(社会体育など)と重なるため、時間の変更など開催方法を検討する必要があります。</p>
	移動図書館利用者数(人)	386	427	268	347	208	-	-	
	移動図書館図書貸出数(冊)	1,253	1,303	907	1,546	731	-	-	
	図書館事業講座参加者数(人)	2,142	2,354	2,512	2,574	2,684	-	-	

施策小項目	指標指標(単位)	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	H25実績	H27目標	達成率	総合評価と今後の方向性
心身の健康を育むスポーツ活動の推進	町駅伝大会参加チーム数(チーム)	44	58	60	53	42	-		<p>■各種スポーツイベントの開催</p> <p>町民ゴルフ大会は果物収穫期の8月から7月へ開催時期を変更しました。駅伝大会は県中学駅伝等他の大会と重なり参加チームが減少しました。町民運動会の参加率向上について運営研究会、研究会集いで検討を行っています。</p> <p>駅伝大会は県中学駅伝を考慮し、30回記念大会を11月9日開催予定です。町民運動会については、運営方法についてさらに検討が必要です。</p> <p>■少年少女スポーツクラブ等との連携</p> <p>第5回集会は、指導観、活動時間、負担軽減の3つのポイントについて競技毎に分かれて分散会をもちました。</p> <p>第5回集会からの課題整理と長野県教育委員会が策定した「中学生期のスポーツ活動指針」を踏まえ、松川中学校運動部活動の今後の方向について検討していきます。また、検討委員会をスポーツ活動運営委員会に改組、社会体育団体への説明、部活動参観を計画していきます。</p> <p>■体育活動団体の運営支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育協会50周年記念事業として、夏期巡回ラジオ体操、記念講演、記念誌発行を行いました。体協会員減少による活動休止クラブの発生が課題となっています。 ・ロードレース大会事務局と合わせハーフマラソンのコース研究を行いました。H26年開催の目途までつきませんでした。計画に伴う関係地区への説明と、スポーツ振興くじ補助等財源の確保、実行委員体制の充実が課題です。 ・オープンソフトボール大会と自治会対抗ソフトボール大会の運営支援を行っています。雨天延期の場合の日程と会場確保も課題となっています。
	少年少女スポーツクラブ・中学校運動部・体育協会の連携競技数(団体)	0	0	2	5	6	10	60%	
	スポーツ施設利用団体数(団体)	4,401	4,774	4,945	5,408	調査中	4,800	113% (24年度達成率)	
	少年少女スポーツクラブ登録者数(人)	592	528	500	478	458	-		
	体育協会登録者数(人)	1,577	1,519	1,433	1,485	1,418	2,050	69%	
子どもの健全育成	有害サイト等被害防止の講演会実施数(回)	0	1	1	2	1	1	100%	<p>■有害サイト等被害防止教育</p> <p>中学校で職員、全校生徒、新入生及び新入生保護者を対象に、インターネットの危険性、保護者としての心構えについて講演を行いました。</p> <p>ネット接続ができる情報端末の種類が増え、家庭以外でも児童生徒のネット利用が広がっており、引き続きの指導が必要です。</p>
歴史、伝統文化の継承	企画展開催回数(回)	0	4	3	2	2	5	40%	<p>■資料館の運営</p> <p>写真報告展第3回「被災地の今」、政所田遺跡発掘調査速報展、亀山勝保作品展、写真報告展第4回「被災地の今」を開催しました。また、常設展示のキャプション交換をおよそ半分実施しました。展示ホール利用の呼びかけをより積極的に行っていきます。</p>
	資料館入館者数(人)	4,150	4,165	4,204	調査未実施	調査未実施	-		
文化芸術活動の推進	文化協会所属団体数(団体)	33	33	37	37	36	33	109%	<p>■文化協会と文化祭への支援</p> <p>相談窓口及び補助金による支援、松川高校生による文化祭準備手伝い、またハウインパーティーと同時開催としました。会員高齢化による会員減少が課題となっています。</p>

施策小項目	指標指標(単位)	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	H25実績	H27目標	達成率	総合評価と今後の方向性
健康まっかわ21の推進	総合健診受診者数(人)	697	666	644	707	562	-		<p>■総合健診 町内5会場で総合健診を実施。子育て世代の女性に2ヶ月児訪問で健診受診を呼びかけ、受診につなげています。その他、消防団の福利厚生事業として、キットを用いて第1回火の元査察時の血液検査、自治会健康学習会の場での受診勧奨、全世帯へ次年度の健診意向調査を実施し、健診を周知すると共に受診率の向上を図りました。</p> <p>乳幼児健診、小中学生の血液検査、自治会健康学習会、消防団健診、健診結果説明会等の場において、自己管理能力の向上を図る必要があります。</p> <p>■特定健診 結果提出や個別健診を含まない特定健診受診者は1,237名、受診率39.0%(いずれも平成26年4月末現在)でした。健診後の結果説明会や保健指導の充実により、健診の比率を増やしていく必要があります。</p> <p>■健診結果説明会 年15回実施しました。欠席者に対しては、各戸訪問して保健指導を実施しています。重症化予防対象者、特定保健指導対象者に対しては、継続的に指導・支援を行っています。結果提出、個別健診、データ提供対象者への保健指導について未実施であるため、今後検討していきます。</p> <p>■健康学習会 5月に健康推進委員会を開催し、自治会健康学習会の開催を呼びかけました。また、企業2社に対して健康学習会を開催しています。自治会・団体に対しては、健康学習会を62回、「健康を考える集会」に事務局として参画しました。広報「健康が一番」を掲載し、「誰でも分かる健診結果」というシリーズで、健康に関する情報を発信しました。随時学習会の内容を検討していくとともに、全戸訪問は国保世帯を中心に、重症化予防に力を入れて医療費の抑制につなげていく必要があります。</p> <p>■課題別健康教室 健診結果で指導が必要な方に対し学習会を実施しました。内訳は、「減塩教室」年1回で15名参加、「間に合う会(腎機能学習会)」年2回で26名参加がありました。調理から試食までを通じた内容にすることで、実際調理に携わる家族(夫婦・親子)も巻き込んだ学習会にしていく必要があります。</p> <p>■糖尿病発症予防 健診受診者の中から対象者を選び出し、結果説明の際に二次健診を勧めています。2月には75g糖負荷検査を実施しました。結果説明を充実させ、生活改善につなげていく必要があります。</p> <p>■がん検診 健診意向調査により健診の機会を提供しました。予防可能ながんに関する知識を提供するとともに、受診率向上を目指します。</p> <p>■性別に応じたがん検診の実施 健診意向調査による健診の機会を提供、受診率の向上を図りました。(子宮24.9%、乳33.9%、前立腺11.6%) 今後は新たにクーポン対象者になる子宮20歳、乳40歳を中心に受診勧奨を行います。</p>
	消防団総合健診受診者数(人)	56	60	175	151	116	120	97%	
	特定健診受診者数(人)	1,704	1,699	1,592	1,637	1,237	-		
	特定健診受診率(%)	62.4	65.0	58.6	61.1	39.0	70.0	56%	
	結果説明会参加者数(人)	165	649	572	551	712	-		
	特定保健指導実施率(%)	36.4	50.0	47.0	38.5	95.0	100.0	95%	
	健康学習会開催自治会数(組織・団体を含む)	72	77	67	83	62	103	60%	
	課題別健康教室実施数(回)	38	42	40	8	3	-		
メタボリックシンドローム発症率(%)	24.0	21.7	22.0	13.3	10.8	25.0	231%		

施策小項目	指標指標(単位)	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	H25実績	H27目標	達成率	総合評価と今後の方向性
健康まっかわ21の推進(つづき)	生活習慣病患者発症率(%)	32.5	33.8	33.0	27.4	51.0	30.0	59%	<p>■むし歯等の予防 1歳半児健診に併せ、母親に対し歯科医師による健診、歯科衛生士による歯科相談を実施しました。歯科を含む消化器疾患が6割を占めることなど、自治会健康学習会で医療費の実態を住民に示します。</p> <p>■予防接種 ポリオ、BCG、麻疹・風疹、日本脳炎、4種混合(百日咳・ジフテリア・破傷風・不活化ポリオ)に加え、4月から定期接種となったHib、小児用肺炎球菌の受診勧奨を実施しました。また、インフルエンザ及び肺炎球菌ワクチン(75歳以上)は、接種費用の一部補助を行いました。尚、インフルエンザについては、高齢者は個別通知、保育園児は保育園、小中学生は学校を通じての通知により接種を呼びかけています。また、感染症に関する危機管理マニュアルを現在作成しています。平成26年度中に水ぼうそうと肺炎球菌が任意接種から定期接種になる予定で、スムーズに受診ができるよう勧奨していきます。また、2ヶ月児訪問や乳幼児健診時から接種を呼びかけ、各予防接種の適期の受診勧奨と周知を図っていきます。また、新型インフルエンザの対策行動計画の見直しを検討していきます。</p> <p>【委員からの助言】 ・総合健診、特定健診の受診率が落ちた。健診を受けないと課題も見えてこない。消防団が116名受けている割には、その後の健診につながっていない。つなぎとめる施策を。 ・結果説明会で結果を知ることが大事。企業で受診した場合、結果がフィードバックされず、自分がどう対処しなくてはならないかわからない。 ・特定健診と健診後の保健師さんによるご指導は有り難い制度です。経済的に検(健)診できない方の補助などを考えていただければと思います。</p>
	糖尿病の有病率(生活習慣病患者のうちの有病率)	26.4	27.6	27.2	31.6	22.2	26.0	117%	
	がん検診受診者数(人)	2,756	2,731	4,089	4,597	4,540	2,880	158%	
	性別がん検診受診者数(人)	1,099	1,569	1,503	1,290	1,285	1,920	67%	
	12歳児の1人当たり永久歯むし歯数(本)	1.2	1.0	1.0	1.0	0.8	0.7	88%	
	予防接種者数(人)	6,860	5,403	5,600	6,523	5,807	-	-	
医療救急体制の充実	町内医療機関の常勤医師数(人)	13	13	14	14	14	15	93%	<p>■医療体制の確保 現在は産婦人科・小児科ともに医師を確保できています。医師・看護師を安定的に確保するため、関係機関への働きかけを継続していきます。</p> <p>■高森消防署との連携 本年度の救急出動件数は473件で、昨年度よりも53件増加しました。高森消防署との連携をさらに強固にし、救助・救援活動の支援を行っていきます。</p> <p>■AEDの普及 新規での設置はありませんでした。屋外で利用できるよう、移動式AEDの貸与を検討していきます。</p> <p>【委員からの助言】 中村医院、落合医院が診療を止め、内科がなくなりホームドクター的な医療が受けられなくなった。その結果、日赤に医療が集中している。風邪など、軽微な町医師が大切。個人医療機関への対応を願う。</p>
	救急出動件数(回)	365	431	445	420	473	-	-	
	AED設置箇所数(累計)(箇所)	14	28	28	28	28	-	-	

施策小項目	指標指標(単位)	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	H25実績	H27目標	達成率	総合評価と今後の方向性
国民健康保険税等の健全運営	国保税徴収率(%)	96.9	96.7	96.4	95.5	96.5	96.7	100%	<p>■国民健康保険の健全運営</p> <p>国保税率は昨年度と同率に据え置きました。被保険者一人当たり年税額は、構成員の所得が増加したことにより4.7%増となりました。悪質な滞納者に対しては、差し押さえ予告通知などにより納付を促しています。また、滞納者には保険証切り替え時期に、短期保険証を発行すると共に納付を促しています。適用の修正、レプト点検、第三者行為賠償などの適正化事業にも取り組んでいます。</p> <p>医療費は増加しており、適正な国保会計の運営のため、国保税の相応の負担をいただかなければなりません。また、急な医療費の高騰や交付金の変動があった場合にも対応できるよう、ある程度の予測も含めた国保財政調整基金の保有は必要です。</p>
	1人当たり医療費(円)	231,755	242,433	272,442	251,604	271,263	274,000	101%	
地域福祉を推進するひとづくり	ボランティア団体登録数(団体)	24	24	23	23	23	29	79%	<p>■地域ボランティアセンター活動支援</p> <p>年6回発行の社協広報誌「ふれあいひろば」にてボランティア活動紹介、イベントの紹介を行いました。ボランティア保険加入者は743名、このうち東北災害ボランティアは39名でした。また、地域ボランティアセンター交流室の環境整備に参画し、よりよい交流スペースが確保されました。</p> <p>ボランティア等地域資源の活用が謳われている地域包括ケアシステム構築において、ボランティア育成も含め地域ボランティアセンター、地域包括支援センターと連携する必要があります。</p> <p>■認知証サポーターの育成</p> <p>認知症への理解と普及啓発として、地域の4団体を対象に講座を開催しました。平成26年度では、団体に属さない一般向けの養成講座を開催します。</p>
	認知症サポーター登録者数(人)	294	520	685	726	845	600	141%	
暮らしを支えあう地域づくり	単位高齢者クラブ数(団体)	15	16	15	15	15	-	-	<p>■単位高齢者クラブ</p> <p>社会福祉協議会を通じ、日赤奉仕団、身障協、遺族会、手をつなぐ育成会、家族会、単位高齢者クラブへの活動助成を行いました。また、高齢者クラブ代表者を1回開催、各団体のPRは社協広報誌のほか、福祉を考える集会資料にも掲載されています。</p> <p>高齢者クラブ連合会再開については、高齢者実態調査等の情報をもとに検討する必要があります。</p> <p>■災害時要援護者台帳</p> <p>ひまわり乗車券の案内発送時に併せて登録の案内を送付しています。今年度は20名の登録がありましたが、転出・死亡により登録者数が減っています。</p> <p>要綱があるとはいえ、地域支援者への情報開示には慎重を期すべきで、個人情報保護法との整合性を再度精査する必要があります。また、避難マニュアルに沿った個別避難計画の作成には、人員確保とスキルアップが必要とされます。</p>
	災害時要援護者台帳登録者数(人)	284	307	397	358	348	450	77%	
<p>その他</p> <p>【委員からの助言】</p> <p>民生委員さんの仕事は多忙で責任が大きく大変です。OB、OGの方々を中心に補助的な仕事ができる仕組みを考えてみてはどうでしょうか。</p>									

施策小項目	指標指標(単位)	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	H25実績	H27目標	達成率	総合評価と今後の方向性
福祉サービスの充実	自立高齢者率(%)	83.8	83.0	83.0	83.0	83.4	83.0	100%	<p>■生きがいづくりと介護予防活動の推進 10月に高齢者生きがいサービス利用者(現利用者と過去に利用した方)への聞き取り調査を行ない実態を把握しました。また、先進地視察において、当該事業に取り入れ可能な内容の検討を行なっています。</p> <p>高齢者生きがいサービス事業は、平成26年度より介護保険事業の介護予防事業へ組み替えられます。介護予防ケアマネジメントに基づき、アセスメントと評価を適正に行う必要があります。このための業務分担の見直しと人員確保が必要です。また、高齢者ホームヘルパー派遣事業については、平成27年度開始予定の地域支援事業/介護予防・日常生活支援総合事業の生活支援サービス部門への再編・位置づけのため、実態調査の結果を踏まえ、地域ケア会議を経て、平成26年度中に結論を出し整備を行なっていきます。</p> <p>【委員からの助言】 全体に関わりますが、65歳以上で月5万円ほどの国民年金以外の収入が無い高齢者がいます。体力に合わせた働き方で収入が得られる仕事を確保してもらいたい。時間外保育のお子守の補助・保育園の送り迎えや清掃草取り、学校の登下校見守りや校舎の整備や校庭草取り・教材の準備や片づけ、農繁期の農家への手伝い、遊休農耕地農作物栽培の手伝い、山の手入れの手伝い。公園の草刈り・清掃など、保育園、学校、公園などの公共施設、事業所、企業、個人などの仕事の依頼を受けて、65歳以上の高齢者の働きたい要望に応えられるようにしてもらいたい。</p>
	高齢者生きがいサービス事業延利用者数(人)	1,851	1,768	1,704	1,884	1,858	-		
	<p>その他 【委員からの助言】 松川町は障がい者施設が多くて恵まれています。また、それぞれの施設に活気があり、頼もしくも感じます。前述の高齢者も、障がい者とともに社会に貢献しながら賃金がもらえる仕事をさせてもらうことができればと思います。</p>								
共に参加できる社会づくり	町審議会等への女性登用率(%)	15.2	16.9	21.9	21.1	20.4	25.0	82%	<p>■審議会、委員会等への女性参画 町政懇談会、区長自治会長会で女性役員登用について呼びかけを行いました。引き続き啓発が重要です。</p> <p>■女性の職域拡大と管理職等への登用 男女共同参画センター「あいとびあ」での講演会に参加しました。また男女共同参画地域フォーラムinあなんにも参加しています。産前産後休暇制度や育児休業制度など、各種制度は県等との同一歩調で行う必要があります。</p>
	町の課長係長に占める女性職員比率(%)	15.8	16.7	16.7	21.2	11.8	25.0	47%	
共に支え合う家庭づくり	家族経営協定数(組) ※農家に限定	5	5	3	2	1	-		<p>■家族経営協定の締結促進 若手農家等の未協定農家への制度説明を行い、協定推進を行いました。制度への理解を引き続き説明し、協定締結を進めます。</p>

第3章 次世代の環境づくりに取り組む まち

施策小項目	指標指標(単位)	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	H25実績	H27目標	達成率	総合評価と今後の方向性
自然環境の 保全	太陽光発電施設設置数(累計)(箇所)	95	130	206	289	362	313	116%	<p>■太陽光発電導入補助 一般住宅への太陽光発電施設設置補助を継続し、新たに68件の申請がありました。累計は430件となりました。また、町有施設への太陽光発電設置の検討を行い、名子中央保育園について設計監理業務を発注、設置事業については繰越事業としています。他の施設については設計のみ行いました。 国補助が廃止され、町としていつまで補助を継続していくか検討します。また、町有施設への設置については保育園設置後の状況をみながら検討します。</p> <p>【委員からの助言】 環境面や人口増の観点から、補助制度の継続を望む。</p>
	<p>その他 【委員からの助言】 ・ミニ水力発電は啓発には良い。ただ、水の管理、機械部分の管理など大変である。中川村の倉沢さんのように自分の家に用水があり、水の管理やメンテナンスのノウハウがわかっていて、その通りにできる人は可能である。町では上片桐の終末処理場の排水の天竜川までの落差を利用すると良い。名子井など段丘涯の落差を利用するのも良い。 ・間伐材をバイオファイバーやペレットストーブにして使用するための、製造配達メンテナンスから灰の処分までの仕組みを研究してほしい。伊那谷など広範囲で共同して行う。 ・天竜川の堤防は風が通るので、風力発電を設置すると良い。発電機は七久保の道の駅に設置してある風力発電機を参考にすると良い。天竜川全域で検討すると良い。</p>								
環境汚染の 防止	野焼き等悪臭の苦情件数(件)	15	18	18	20	14	15	107%	<p>■大気汚染の防止 野焼きに対する苦情が10件あり、早期対応による指導を実施し、理解を求めました。また、事業者による焼却等の大気汚染に対して、県と連携し現地調査及び指導を実施しました。 違法な野焼き禁止の啓発や指導を継続して実施する必要があります。</p> <p>■不法投棄防止活動 環境調査員による毎月のパトロールと不法投棄物の回収を行いました。また、情報提供や見回りによる廃棄物の撤去を実施、原因者が特定できるケースは警察と連携し対応を行いました。 不法投棄の防止に向け意識の高揚を図るとともに、引き続き、警察、県等と情報を共有し、連携を強化します。また、不法投棄防止対策として監視カメラの設置・運用について研究していきます。</p> <p>■犬の登録と狂犬病予防注射の実施 狂犬病予防注射接種率向上のため、未接種の飼い主へ接種を呼びかけ、接種率向上に努めました。 飼い方マナーの啓発を、広報などを通じて行いましたが、散歩中の糞の放置など、犬の飼い方マナーについて苦情が寄せられています。迷い犬の増加など、飼主のモラル向上を引き続き呼び掛けていく必要があります。尚、迷い犬の捕獲件数は37件ありました。</p>
	不法投棄処理件数(件)	36	25	35	29	43	22	51%	
	犬の登録数(頭)	1,174	1,120	1,063	1,045	1,008	-	-	
	狂犬病予防注射摂取率(%)	98.5	96.9	95.7	98.7	97.0	-	-	

施策小項目	指標指標(単位)	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	H25実績	H27目標	達成率	総合評価と今後の方向性
ごみの減量化とリサイクル活動の推進	燃やすごみ排出量(t)	1,401	1,341	1,359	1,320	1,343	1,268	94%	<p>■燃やすごみの共同処理 桐林クリーンセンターで燃やすごみへの資源ごみ混入調査を3回実施しました。この結果、プラ資源の混入が見られ、平均混入割合よりも高い状況となっています。また、次期ごみ処理施設建設に向けた担当者会議(6回)に参加し、施設の規模等を検討しました。 生ごみをレジ袋に入れている状況がまだ見られ、資源ごみの分別啓発が必要です。また、次期ごみ処理施設建設に向け南信州広域連合での協議に参画し、推進を図っていきます。</p> <p>■生ごみ処理機の普及 生ごみ処理機購入助成を継続して実施し、37件の申請がありました。11年度からの累計では1,054台が導入されています。循環型社会構築のため、補助制度の継続的な実施と普及促進を図り、燃やすごみ減量につなげます。しかし、生ごみ処理機が導入された一方で、燃やすごみはH24年度より増加しています。さらなる減量化の呼びかけが必要です。</p> <p>■フードリサイクル事業の推進 年間約56tの生ごみ収集を行い、たい肥化による循環型社会の促進が図られました。また、10月からの有料化によって、加入世帯は9自治会180世帯となりました。生ごみ処理機の状況を確認しながら、既に実施している地区内における新規加入者及び新規地区の選定を検討します。</p> <p>■ごみ分別の徹底 ごみカレンダーの作成配布、ごみ収集日お知らせサービス(263名登録)により、収集日と分別収集の徹底、意識の定着化を図りました。また、新たに転入された方へは転入時にごみの排出についての説明を行い、分別収集の協力を呼び掛けています。ごみ説明会も随時実施しています。 分別の意識高揚に向けた取組みを引き続き行うとともに、ごみ収集日お知らせサービスの登録者数を増やし、収集日の周知と意識の高揚を更に図る必要があります。</p>
	生ごみ処理機補助件数(件)	60	72	36	50	37	-	-	
	フードリサイクル事業		15	28	41	52	55	-	
			110	140	256	256	180	-	
再資源化率(%)	42.17	42.68	44.49	43.45	44.10	43.28	98%		

第4章 活性化を高める まち

施策小項目	指標指標(単位)	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	H25実績	H27目標	達成率	総合評価と今後の方向性
観光宣伝の推進と受入態勢の整備	観光人口(百人)	2,526	2,490	2,415	2,544	調査中	2,500	102% (24年度達成率)	<p>■観光協会の充実と観光宣伝の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中京方面キャンペーンの見直しを行い、新たに名古屋ドームや名古屋市日泰寺、刈谷ハイウェイオアシスでの物販、観光キャンペーンを実施しました。また首都圏や、関西方面へのキャンペーンも新たに実施しています。これらキャンペーンは、販売目的であるか、PR目的であるかを再度検討し、出展先を検討します。観光協会員及び農家の方々に直接キャンペーンなどを行っていただくことで、町のPR、また新たな販路拡大となるような活動を検討します。 ・全国の町村が集まって行う、町イチ村イチに参加し、広報大使にゃんたぶうのステージ出演などで、松川町をPRしました。 ・全国版の旅行雑誌、マップル信州への情報掲載をしています。 ・清流苑20周年を記念して募集した「笑顔」をテーマにしたフォトコンテスト実施。 ・地域案内人講座を開設し、町内のガイドを行える人材の育成を行いました。コース作り、実際の案内を進め、売り込みのできる活動としていきます。 <p>■清流苑の運営</p> <p>宿泊者数及び入湯者数が減少となりました。要因は2月8、9、15、16日の土日4日間の大雪です。特に15、16日は、開業以来初めての臨時休館となりました。灯油、食材の配送及び交通網の麻痺によるもので、直接的要因として約600万円余の減です。その後の積雪による利用の控えはこの数字に入っていません(2月前年対比は900万円余の減少です)。</p> <p>26年度はフォレストアドベンチャーが始まることもあり、一層の利用促進を図ります。</p> <p>■スポーツ施設の運営</p> <p>屋内スポーツ施設の大規模改修により1ヶ月間休館したため、利用者数は減少しました。この改修により、フットサルが利用ができるようになりました。</p> <p>■温水プールの運営</p> <p>大規模改修により1ヶ月間休館したため、利用者数は減少となりました。プール教室や健康予防の取り組みと合わせ、利用促進を図ってまいります。</p>
	清流苑宿泊者数(人)	20,239	19,789	19,204	19,320	18,679	20,300	92%	
	入湯者数(人)	143,265	142,132	146,055	146,543	143,159	144,000	99%	
	スポーツ施設(温水プールを除く)利用者数(人)	7,338	5,874	5,384	5,680	4,883	-	-	
	温水プール利用者数(人)	39,486	42,059	40,632	42,683	40,794	-	-	
グリーンツーリズムの推進	農家1戸当たり耕地面積(ha)	0.93	0.94	0.92	0.94	0.89	0.91	98%	<p>■営農支援センター機能の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若武者会員の活動支援を行いました。一方、女性の学習会では、剪定講習会の実施となっているので、内容の検討が必要です。 ・農地についての相談はできる限り対応・契約していただいておりますが、農地をまとめる等の作業には至っていません。農地利用の現地調査を行う予定でしたが、申請農地のマッチングはできないため、範囲を限定して推進することも必要です。

施策小項目	指標指標(単位)	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	H25実績	H27目標	達成率	総合評価と今後の方向性
グリーン ツーリズムの 推進 (つづき)	農業体験旅行者数(人)	958	693	681	694	609	-		<p>■グリーンツーリズム拠点施設の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふじまつりについては、中央公民館駐車場に会場を移し、商工会と連携、2,500人の来場がありました。滞在時間の延長と同時に、駐車場の確保が必要です。 ・農家民泊、ホームステイの受け入れ農家が、飯田下伊那地区で増加している影響で、町内の受け入れ数が減少しています。今まで以上に安全、安心な体験や、「ありのままの田舎」を提供することによって、心に残る体験としていきます。 ・アグリトライヤルを実施。宿泊の受け入れが難しい農園での農業体験を可能にしていくな必要があります。 <p>■観光農園ネットワークの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みらいを通じてくだもの狩りに訪れるお客様は4,826名で、半数がサクラホ狩り。リンゴ狩り等は直接農園に行く方が多く、案内所を通りません。購入やくだもの狩りがお客様の希望で自由に選べる今の現状は良いと思われま。 ・観光協会でのおもてなし研究会で、研修会やワークショップを実施し、更なるおもてなしの向上を図ります。 <p>【委員からの助言】</p> <p>松川町はくだもの観光農園を中心とした観光を発展させると良いと思います。清流苑などに宿泊したお客さんに、松川町の魅力を伝える案内ができればよいと思います。</p>
	信州松川くだもの観光協会の所属農家数(件)	50	55	65	65	63	57	111%	
魅力ある農業の振興	さすがふじ出荷量(kg)	1,700	1,500	1,350	2,400	1,570	2,000	79%	<p>■付加価値創造による販売力強化</p> <p>さすがふじは、県の支援により静岡市内での販売促進を行ったものの、凍霜害や台風により、さすがふじの出荷数量は157ケースの減となりました。市場での評価もあることから、JAとも連携し、生産農家の拡大が必要です。</p> <p>■遊休農地対策の推進</p> <p>農地として復旧できない遊休農地(赤農地)について、農業委員会による非農地判断を612筆・30ha行いました。非農地通知後の、地目変更の誘導、県林務課協議による林地申請を進めるとともに、引き続き、非農地判断未了地の現地確認を行い、赤農地の減少に努める必要があります。</p> <p>■有害鳥獣駆除の推進</p> <p>サルの被害防止対策として、生東地区に捕獲檻を設置しました。同様に、部奈地区にも設置を進めてまいります。また、有害鳥獣駆除実施隊と連携し、個体数調整を進める必要があります。</p>
	認定農業者数(人)	100	117	130	131	133	130	102%	
	遊休農地面積(ha)	H17 142	H22 227	220	232	218	222	102%	<p>【委員からの助言】</p> <p>町内の多くの遊休農耕地へ太陽光発電が設置されています。土地を荒らしておくだけより良い。原子力発電に代わるエネルギーは今のところ太陽光が一番効率的という点で賛成ですが、せつかくの農耕地を発電施設にしてしまっはもったいないと思います。急いで果樹・野菜を中心とした採算のとれる農業を考えていくな必要があります。</p> <p>りんご、なし、もも、市田柿の品質管理をしてブランド化、グローバル化を進める。また、国光、紅玉、二十世紀、梅、ブドウ、ブラム、サクラホ、山菜など希少価値や多様性を考える。</p>
魅力ある農業の振興(つづき)	有害鳥獣駆除頭数(頭)	182	295	285	306	196	-		

施策小項目	指標指標(単位)	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	H25実績	H27目標	達成率	総合評価と今後の方向性
賑わい活力のある商業の振興	マークンカードポイント発行額(万円)	1,845	1,896	1,581	1,421	1,907	1,900	100%	<p>■マークンカード事業の支援 住宅リフォーム補助金によって、マークンギフトカードも5,777千円を交付でき、経済循環の役割を果たすことができました。引き続き商工会等とも連携を図り、町としてできるイベント等の支援、地域経済循環の要として位置づけを進めていく必要があります。</p> <p>【委員からの助言】 町の出生祝い品など、マークンカードをバックアップしてくれており、感謝申し上げる。子どもの店がなく、使い道がないなど使いづらいという声は聞いている。今後も加盟店を増やしていく。</p>
企業立地の推進	工場等の家屋床面積(m ²)	227,017	278,587	258,840	221,665	234,939	246,000	96%	<p>■企業立地促進法に基づく企業誘致 「アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区推進協議会」への参加申請を行いました。企業立地促進法の制度改正に向け、順次準備を進めていきます。</p>
町内企業の支援	工業製品出荷額(万円)	2,459,445	2,751,024	2,730,171	2,768,582	未確定	3,000,000		<p>■受注対策・販路開拓の支援 受注対策事業に対する補助金を、商工会を通じて交付しました。また、「展示商談会等出展事業補助金」を創設しました。環境に配慮した企業の取組みに対する支援制度について、検討研究を行なう必要があります。</p>
雇用対策の支援	無料職業紹介所利用者数(求職者数)(人)	26	24	25	20	10	-		<p>■無料職業紹介所の開設 無料職業紹介所の実績は、町内企業からの求人についてはパートを含め12件、求職については8人ありましたが、成約に結び付いた事例はありませんでした。求人情報の更新、就職機会情報の発信は随時行っています。 無料職業紹介所のニーズは年々高まっていますが、需要と供給のギャップが大きくなってきています。</p>
	高等学校卒業者就職率(%)	21.9	19.8	23.6	23.6	23.6	20.0	118%	
林業振興の推進	森林面積(ha)	4,783	4,777	4,777	4,777	4,774	-		<p>■計画的な森林施業の推進 森林造成事業として、間伐を16.86ha行いました。今後も、経営計画に沿った事業を飯伊森林組合と協議し進めていきます。また、次年度以降の計画についても、その都度見直しを行いながら、適正な森林整備を進めます。</p> <p>■里山・森林整備の促進 町有林の間伐では、補助要件に合う里山の選出ができなかったことから、協議の上、松川町森林経営計画の中へ盛り込んで森林整備に努めてまいります。</p> <p>【委員からの助言】 フォレストアドベンチャーについて、地元への対応が寂しい。観光も大事だが、毎年学年を決めて割引ではなく、親子レクなどの団体割引を是非お願いしたい。</p>
	町有林の間伐面積(ha)	15.26	33.26	43.86	56.48	73.34	100.00	73%	

第5章 安心して住める基盤のある まち

施策小項目	指標指標(単位)	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	H25実績	H27目標	達成率	総合評価と今後の方向性
美しい景観の保全	花いっぱい美化活動実施団体数(団体)	18	16	18	17	17	17	100%	<p>■花いっぱい美化活動の推進</p> <p>17件、1,120,000円の補助金を交付しました。地域の景観が良くなるとともに、取り組みによって住民の絆も深まったと考えます。申請団体が固定化しているなかで、新規に取り組む団体、住民の参加意識をどう促していくかが課題となっています。</p>
道路整備の推進	町道路改良率(%)	44.7	47.6	47.7	48.4	48.9	53.0	92%	<p>■幹線道路及び生活道路整備の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町道神護原線を歩道付き道路として、中塚内科循環器科医院から南へ約400mが完成しました。 ・町道大草線は歩道付き2車線道路として、サークルから北へ約130m完成しました。 ・町道町谷線の測量を行い、計画設計を実施しました。 <p>いずれの事業も、地権者や地元の住民の皆さんに対し、事業の内容について説明会を開催してまいります。</p>
利用しやすい公共交通の推進	中央道松川IC利用台数(台)	1,869,210	1,864,582	1,851,218	1,913,719	1,939,863	-	-	<p>■中央道松川IC有料駐車場の運営</p> <p>運営管理については、アマネジメントサービスに平成26年度から5年間の委託契約を行うこととなりました。</p> <p>管理については、2月の大雪による場内の雪かきをはじめ、随時行っています。引き続き、施設整備を有効かつ効果的に進めます。また第2駐車場については、地権者の大島区と協議を行ってまいります。</p>
	松川IC駐車場駐車料(千円)	6,407	9,099	7,958	8,098	8,205	-	-	
安心して遊べる公園の整備と利用促進	むらやま公園利用団体数(団体)	-	15	17	18	17	20	85%	<p>■安心して遊べる公園整備と利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内5カ所の都市公園について、利用する側に立った維持管理を心掛け、年間を通じて草刈りやゴミ拾い、遊具の点検等を行いました。引き続き、公園ごと利用者のニーズに合った整備を進めていく必要があります。また、避難地となりうる公園では、トイレの整備を進めていく必要があります。 ・台城公園では、遊具と階段の補修、マレットボール落下柵の補修設置を行いました。
	公園等の景観(施設)整備数	2(0)	2(1)	2(1)	3(1)	1(2)	2(2)	50%	
安全な河川整備と環境保全	片桐松川整備床固工群の完成数(全56基)(基)	32.5	34.5	36.5	38.5	40.0	42.0	95%	<p>■河川整備の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・片桐松川床固工No.36.37.38左岸が完成しました。 ・天竜川無堤防箇所について、天竜川上流河川事務所に要望を行っています。 ・野岩川、寺沢川、唐沢川の堆積土除去を行いました。唐沢川については、河川改修の要望を行っていきます。
	その他 【委員からの助言】 河川清掃はできるだけ地域住民が行うが、危険箇所は業者に委託してもらいたい。								

施策小項目	指標指標(単位)	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	H25実績	H27目標	達成率	総合評価と今後の方向性
安定した水資源確保と施設維持	上片桐地区老朽管更新延長(km)	2.47	1.38	1.02	0.85	0.97	-		■老朽管布設替えの実施 平成25年度施工予定箇所を更新ができ、上片桐地区の漏水量の減少が見られました。引き続き計画的な更新事業の推進を図ってまいります。また、徐々に布設替管路が重要主要管となってくることから、適切な施工管理を図ります。
	給水人口(人)	13,647	13,695	13,573	13,500	13,399	-		
	水道普及率(%)	96.4	96.6	96.7	99.7	99.7	-		
上水道事業の安定経営	上水道有収水量(m ³)	1,246,693	1,258,268	1,235,350	1,216,250	1,197,450	-		■上水道事業の健全運営 ・水道事業経営審議会を5回開催し、3月28日に答申書が提出されました。 ・アセットマネジメントについては、今回の審議会でも答申されており、平成26年度への予算付けを行いました。3年間で完了するよう計画的に進めてまいります。 ・水道料の滞納者に対し、給水停止要綱に基づき該当者に予告通知をし、期限までに納付がない場合には給水停止措置を講じています。これにより完納や分納誓約に至っており、有効に機能していると考えます。 ・量水器の冬期管理や消費税率改定等について適宜広報を行っています。まちづくり懇談会も利用しながら、引き続き広報活動の充実を図ります。
	上水道有収率(%)	91.0	92.2	92.6	92.3	92.3	93.0	99%	
	企業債残高(百万円)	1,249	1,185	1,113	1,041	1,061	893	84%	
	上下水道料徴収率(%)	99.1	99.3	98.8	98.5	98.9	-		
下水道事業の安定経営	下水道加入率(%)	76.4	77.9	79.0	80.4	81.4	80.0	102%	■下水道事業の健全運営 下水道事業経営審議会を5回開催、3月28日に答申書が提出されました。 ・上片桐上地区内の未加入世帯(20戸)にパンフレットを配布説明しながら加入を呼びかけました。世帯の状況を把握して加入の可能性を分析し、効率よい推進を図ってまいります。 ・利子補給対象世帯(3戸)に支払いを行いました。
	下水道債残高(百万円)	7,538	7,184	6,837	6,485	6,125	5,540	90%	
生活排水対策の推進(合併処理浄化槽)	合併浄化槽設置率(%)	72.6	72.9	73.7	74.9	75.6	75.0	101%	■生活排水対策の推進 ・5人槽 7基、7人槽 5基、75人槽 1基の設置を行い、目標が達成できました。 ・広報、HPでの呼びかけとともに、直接個別訪問による加入促進活動を行いました。 ・設置補助、維持管理補助、修繕補助について、それぞれ補助金を交付しました。 ・循環型社会形成推進交付金における浄化槽補助金の割合が年々減少していく中、必要額の確保が課題です。

施策小項目	指標指標(単位)	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	H25実績	H27目標	達成率	総合評価と今後の方向性
防災対策の 充実	防災施設整備 事業活用累計 自治会数(自治会)	15	71	101	130	153	150	102%	<p>■自主防災組織の強化</p> <p>7月と2月に自主防災組織のリーダー研修会を実施しました。この研修会は、防災アドバイザーを活用して、自主防災組織の防災力の底上げを図るとともに、目標設定を行い、自主防災活動を継続して行うという内容で実施しています。開催時期に対してご意見を頂いていることから、時期の検討を行うとともに、定期的な研修の開催を計画していきます。</p> <p>■消防水利等の整備</p> <p>消防施設整備補助事業により、各地区で必要なホースや格納庫等の消火設備を随時整備しました。また、新たに耐震性防火水槽2箇所の設置について検討を行っています。昨年度検討した2箇所の耐震性防火水槽について、補助事業を用いて設置できるよう進めてまいります。</p>
	自主防災組織 数(件)	75	80	80	80	79	-		
	消防水利充足 率(%)		82.0	82.0	82.0	82.0	86.0	95%	
消防活動の 充実	消防団登録事 業所数(事業 書)	2	5	6	6	11	10	110%	<p>■消防団活動の推進と機能別団員の任用</p> <p>町団統一の火の元査察を3回実施、合わせて消防団通信の全戸配布を行いました。また、女性消防班による広報活動も実施しています。女性消防班は、式典、大会への参加、広報紙の作成、予防広報、救急救護の講習会等の活動を行っています。</p> <p>年々団員確保が厳しくなるなか、早い時期から地域を巻き込んでの勧誘活動や事業所への協力体制と理解を求めることが肝要です。また、消防団に対する住民の思いを把握し、団員確保につなげるためのアンケート調査を計画しています。</p> <p>■署団連携</p> <p>災害時の迅速な指揮命令ができるよう、9月1日の防災訓練に合わせ机上訓練を実施しました。引き続き、署との連携を図れるよう、署団合同訓練を計画します。</p>
	機能別団員数 (人)	18	20	20	20	19	-		
	火災発生件数 (件)	8	6	11	7	4	-		
住宅確保の 支援	住宅家屋床面 積(m ²)	581,142	586,601	589,984	594,601	596,998	614,000	97%	<p>■住宅確保のための宅地分譲</p> <p>宮ヶ瀬分譲地については完売、1区画ある南森林県住については価格の見直しを行い、更に住宅メーカー等への営業活動を実施しました。残り1区画については完売を目指します。また、単に宅地分譲をするだけでは定住にはつながらないなど課題もあり、総合的な検討が必要となっています。</p>
	宅地分譲販売 区画数(区画)	4	5	3	3	1	-		
IJUターンの 支援	空き家バンク 延成約数(件) H20.12～開 始	2	6	10	12	13	14	93%	<p>■空き家情報バンクによる定住支援</p> <p>物件案内6件のうち1件成約となりました。広報としては、固定資産所有者へ空き家活用(バンク登録)のチラシを配布しました。しかし、空き家情報バンクの管理に業務が集中し、積極的な定住のアピールにまでは至っていないのが現状です。また、単に空き家を紹介するだけでなく、地域の住環境(自治会への加入など)も知ってもらう必要があります。</p>

施策小項目	指標指標(単位)	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	H25実績	H27目標	達成率	総合評価と今後の方向性
交通安全対策の推進	交通事故発生件数(人身・物損)	284	210	37	305	254	230	91%	■地域安全活動(交通安全運動)の推進 交通安全運動中の人波作戦、広報車による啓発、街頭指導等を実施しました。1月には死亡事故ゼロ700日を達成しています。今後とも交通事故が起こらないよう関係機関と連携して無事故無違反の啓発に努めます。
犯罪のない地域づくりの推進	犯罪発生件数(件)	54	70	74	63	46	40	115%	■地域安全活動(防犯活動)の推進 ・生活安全推進協議会を6月に開催し、今年度の取組みを確認、また、同委員と町職員による下校時の青色パトロールを実施しました。あわせて、12月には飯田警察署による青色パトロールの講習会を実施しています。協議会を年度当初に開催することによって、年間の防犯活動計画の確認と十分な連携を図り、活動を強化していく必要があります。 ・12月18日には、区会・自治会の協力のもと、年末一斉防犯パトロールを実施しました。 ・防犯灯の新設及び修理(LED化)を実施し、電球の交換を随時行っています。 ■防犯灯整備事業 予定したLED防犯灯206基を整備しました。また、地元要望の新設防犯灯7基については、LED防犯灯として整備を行っています。LED防犯灯としなかった生田地区の当該箇所については、更なる検討を行い、設置に向け研究していきます。
	防犯パトロール実施数(青パト巡回数)	週2	週2	週2	週2	週2	週4	50%	
	防犯灯整備数(基)	1,020	1,045	1,053	1,061	1,066	-	-	
	防犯灯LED化率(%)	0	45	45	66	85	90	94%	
消費者保護対策の推進	消費者生活相談件数(件)	115	76	118	118	103	80	78%	■消費者被害の防止の啓発活動 消費者被害を防止するため、定期的なチャンネルYOU音声放送、広報紙配布等を実施するとともに、窓口、電話相談に対応しました。

全体 【委員からの助言】	<p>●「松川町株式会社」 松川町をそのような観点からみる場合、経験上次の3項目に重点を置きます。</p> <p>1)財務状況 財政の見直しという項目のなかでやられていると思います。</p> <p>2)産業(企業の場合は商品) 農、工業関連への支援、新たに取り組む事業への支援、後継者支援、子育て、医療、福祉関連事業</p> <p>3)教育 各種研修機関への派遣、子育てへの経済的支援、奨学金制度、コミュニティ活動、図書館の利用促進、まつかわ大学等の各種講座等々、申し分なく充実していると思います(大人の教育が少し弱いか?)。ところが「松川町ってなに屋さん」と聞かれたら何と答えるか?? 企業でいえばパソコンといえは家電、トヨタといえは車…というように。</p> <p>●町の価値を高める これだけ進歩向上してきている松川町でも定住者が減少してきているということは、なにか魅力に欠けるか、宣伝不足と見た方がいい。「企業価値を高める」、町でいえば「町の価値を高める」ことが重要なテーマです。定住者の増減は「価値」を測る一つの大きな指標になるのではないかと思います。以下、具体案。</p> <p>「福祉と自給自足のまち まつかわ」 1)福祉関連は全国でも上位クラスに入っているはずで、よって立派な「売り」材料となる。 2)自給自足 ・地産地消とほぼ同意とみてよいが、このほうがピンとくるし興味もわく。 ・活性化というと都会のような華やかさをイメージしがちだが、その正反対も「逆は真なり」でよい。 ・家庭菜園も含めて自給自足の奨励。 「ホームステイの支援」 1)ホームステイに行きたい子どもたちの支援、積極的に送り出すようにする。 ・視野も広がり必ず子どもたちの将来のプラスになる。 2)ホームステイの積極的な受け入れ ・ここに「福祉と自給自足のまち まつかわ」をからめる。 ・ホームステイしながら福祉and/or自給自足生活、地域小中学校の学習体験。 ・受け入れは一般の民家に協力をお願いする(一戸1~2名)。 ・社協、各福祉施設に協力をお願いする。 ・自給自足の食材は自家及び近隣の農家に協力をお願いする。 *自分で採った菜っ葉で味噌汁をつくる…程度の自給自足で良い。 **子供に教えられるということがあります。外人or他地方の子供を受け入れることによって地域の活性化にもなるし、大人の教育にもなる。 「農業体験事業、青年の家活用事業もあり、それらと絡めても良いが少しニュアンスが異なる。」</p> <p>●「伊那谷丸ごと博物館」 この拠点を青年の家と松川東小学校にしたらどうでしょうか。 ・伊那谷にしか無い物:南アルプス、中央構造線、伊那山地(柿の木坂は駅まで三里)、天竜川河岸段丘、天竜川、田切地形(伊那は七谷)、中央アルプス。 ・そこに住む人の生活と文化:飯田線、東山道、中央道、秘境飯田線オカカブ、新野の盆踊り・雪まつり、遠山郷霜月祭り、各神社の獅子舞、大鹿歌舞伎、黒田・今田・早稲田の人形、高遠の桜、飯伊の桜。そして松川のくだもの増野堤原上片桐、清流苑片桐松川オカカブ、天竜河原、台城、名子城、生田梅松苑、部奈展望公園、松川東小学校</p>
-------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------